

2018(平成30)年度事業報告

2018(平成30)年4月1日から2019(平成31)年3月31日まで

特定非営利活動法人レスキューストックヤード

1 事業実施の方針

マスコミが取り上げる東日本大震災関連といえば、新しい駅舎の完成や高台移転の開始などがニュースとなるも、未だ沿岸部のハード整備は続けられているのが現状である。数度の転居を強いられた結果によるコミュニティの分断の課題は、最悪の場合、孤独死という深刻な現実となって表面化する。もともと東北地方に存在する若者流出や過疎化などの問題も重なっている。さらに、原発事故を抱えた福島県では、仮設住宅家賃供与の停止や避難指示の解除など、帰還政策が実行されるなか、肝心の県民の意識が追いついていない。個々の抱える課題は、ますます深刻化・個別化している。

一方、熊本地震による被災者は、恒久住宅への移転や復興まちづくりという根本的な課題に向けた取り組みが本格化しているが、全国的にも風化は顕著で、息の長い支援が求められている。

こうした現状を踏まえ、宮城県七ヶ浜町での継続的支援は、生の声を聞き、被災者のニーズに対応してきた当法人への期待となっており、行政からも住民からも支持を得ており、本年度もスタッフを常駐させた。「みんなの家きずなハウス」(みんなの家プロジェクトと当法人の共同事業)は1周年となり、地域の賑わい・憩いの場として位置づけが増している。また七ヶ浜の中学生をはじめとする、自分たちの町の魅力を伝えたいと積極的に活動している若者へのサポート活動を継続した。愛知県への県外避難者への支援は、愛知県被災者支援センター運営業務を通じて継続した。また、福島県民の生活再建支援(帰還支援含む)と交流事業も継続した。

熊本地震については、御船町を中心に、地域支え合いセンターの動きと連携しつつ、地元の行事に合わせて訪れることにより、現状見学と交流を目的としながらも、被災地に負荷をかけない交流を実施した。

大阪府北部地震、平成30年7月豪雨水害、台風21号被害、北海道胆振東部地震、と頻発している災害に対し、緊急期、復旧期、それぞれに被災者の状況に合わせた支援を続けた。具体的には、避難所環境改善支援や技術系ボランティアなど専門性のある支援がムラなく行えること、また、JVOADの枠組みを活用しつつ、災害支援団体間はもちろん、内閣府、地方自治体、企業等多様なセクターとの連携強化をめざした。

平常時の活動では、地域や子ども向け防災啓発活動、避難行動要配慮者支援、避難所運営、外国人支援などをキーワードに、地域ニーズに沿ったアプローチで、以下の事業を進めた。

2 事務局体制

【名古屋事務局】専従職員4名、嘱託職員4名、アルバイト4名

【七ヶ浜みんなの家きずなハウス】嘱託職員3名、アルバイト4名(現地採用)

【愛知県被災者支援センター】派遣嘱託職員2名、派遣アルバイト2名

3 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

被災者支援事業		
事業名	主体・協働先	事業内容
東日本大震災支援関連	RSY	<p>■みんなの家きずなハウスの運営(駄菓子・ポーちゃん焼きの販売、コミュニティスペースの運営(月間1,100名が利用))</p> <p>■外部支援者の受け入れ・コーディネート</p> <p>5月20日/みふねっとスタディツアー受け入れ/30名</p> <p>7月31日/SEVEN BEACH Festivalでの発表に向けた子ども達との歌づくりワークショップ会場/23名</p> <p>8月5日/大森杏子号仙台凱旋with痛セブンin秋保での七ヶ浜PRのため、きずな号貸出/約200名</p> <p>8月13日/復興に向けた活動を行っている高校生の団体「きずなFプロジェクト」による七ヶ浜の被災状況を学</p>

			<p>ぶフィールドワークへの、きずな号貸出/10名 9月8日/津波の話を含めた紙芝居実演の会場/12名 10月2日/お茶のみっこ会の遠足へのきずな号貸出/10名 10月3日/地域・学校協働活動推進事業に協力。地区の農園見学をコーディネート/64名 10月(複数日)/七ヶ浜町地域福祉推進事業に協力。ゲストボランティア受け入れ先として「きずなネット」を斡旋/39名 10月21日/障害者地域活動支援センター主催「あさひ園祭り」に東北学院大学の学生ボランティアとともに協力/450名 12月4日/亦楽小学校校外学習受け入れ/49名 12月8,9日/安城きずなプロジェクトチームによる「ふれあい交流サロン」協力/約50名 3月2日/きずなハウスフェスティバルでの安城からのワークショップボランティア受け入れ/3名 ■復興大臣および七ヶ浜町長より感謝状受領 ■重油漏れ事故による七ヶ浜でののり養殖中止を受け、のり養殖関係者への募金の呼びかけを実施 3月12日/石川県穴水町ボランティア連絡協議会によるのり街頭募金手渡しのコーディネート/5名</p>
復興庁「心の復興事業」(七ヶ浜町補助金事業)	RSY		<p>「地域への愛着と温かな人間関係を育む場作り応援事業」 7月21日/七ヶ浜みんなの家きずなハウス1周年(きずなネットまつりと同時開催)/約400名 7月29日/きずな公園美化活動/7名 10月21日/きずな食堂@松ヶ浜/60名 11月17日/菖蒲田浜地区ぼっけ汁祭り/約150名 12月16日/花浜浜クリスマス交流会に協力/104名 1月27日/代ヶ崎浜地区もちつき大会に協力/80名 2月16日/チャレンジキッチン/39名 2月17日/笹山地区ちゃせご(世代間交流会)/70名 2月23日/菖蒲田浜地区ちゃせご(世代間交流会)/79名 3月2日/きずなハウスフェスティバル/約200名 3月16日/チャレンジキッチン/10名</p>
絆力(宮城県補助金事業)	RSY		<p>「七ヶ浜みんなの家きずなハウス」を中心にした学びと活動の場作り支援事業 4月28日/「みどり香るまちづくり企画コンテスト」環境大臣賞受賞に伴う植樹ワークショップ①/42名 6月3日/「みどり香るまちづくり企画コンテスト」環境大臣賞受賞に伴う植樹ワークショップ②/29名 7月21日/きずなネットまつり、植樹祭(七ヶ浜みんなの家きずなハウス1周年と同時開催)/約400名 8月25日/おりおり 藍の生葉染めワークショップ/18名 11月3日/きずなネット研修(保存食づくり)/15名 11月10日/岩沼みんなの家視察・交流/12名 11月18日/被災地学習・交流日帰りバスツアー/46名 12月8日/きずなネット研修(伝わるチラシづくり講座)/10名 3月19日/ファームガーデングリーンサポーターズミーティング/8名 きずなネット会議/年5回実施</p>

	ネットワーク		<ul style="list-style-type: none"> ■東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)への参画 ■愛知県被災者支援センター(愛知県委託事業/事務局担当) ■東日本大震災支援ボランティアセンターなごやへの参画
	県外避難者支援	RSY	愛知県被災者支援センター業務・福島県受託事業の運営、活動を通じて繋がった被災者を対象に、サロン活動など。
緊急救援		RSY	<p>災害現場へのスタッフ派遣(大阪府茨木市、岡山県倉敷市真備町、岐阜県関市、広島県坂町、愛媛県西予市、北海道勇払郡厚真町・安平町・むかわ町) 資機材送付(関市、岡山県、広島市)</p> <p>支援活動報告会(9月14日。参加者58名)</p>
「うるうるパック」発送	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P)		<p>9月14日/広島県三原市/600パック</p> <p>10月5日/岐阜県関市/650パック</p> <p>12月17、21日/岡山県倉敷市/1500パック</p> <p>1月15日/愛媛県宇和島市/200パック/愛媛県大洲市/1000パック/愛媛県八幡浜市/200パック/愛媛県西予市/300パック</p> <p>1月22日/北海道厚真町100パック</p> <p>2月14日/広島県安芸区/70パック</p> <p>3月18日/広島県呉市/300パック</p> <p>3月20日/広島県竹原市/100パック</p> <p>3月22日/大阪府阪南市/50パック/広島県坂町/1100パック</p>
災害ボランティア活動資機材の調査	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P)		「災害ボランティア用活動資機材調達虎の巻」を7月に完成した。(3000部)
福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業	ふくしま連携復興センター		<ul style="list-style-type: none"> ■福島県から岐阜・三重の2県に避難している方の帰還や定住等の生活再建に向けた相談窓口の開設。(相談件数計14件、生活、健康、住宅、ADR申立て等) ■福島県の支援策情報を避難者へ提供する交流相談会の開催：岐阜、甲状腺検診&交流相談会7月29日実施。7世帯24名の避難者が参加、検診実施。三重、原発ADR説明&交流相談会3月3日津市で開催。6世帯8名の避難者が参加
福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業(福島県補助金事業)	RSY		<ul style="list-style-type: none"> ■福島県から岐阜・三重県に避難している世帯への戸別訪問(12軒訪問、電話連絡合計20件) ■愛知、岐阜、三重の3県に避難している世帯を対象にした「郡山市交流相談会」を11月17日(土)実施。14世帯26名+関西団体より6世帯8名の計20世帯参加。福島県、ADR各個別相談と福島支援団体、帰還者との交流、御船町地域支えあいセンターと支援団体ネットワーク「みふねっと」および熊本災害ボランティア支援ネットワーク(KVOAD)と連携し、御船町上野地区南田代1区・2区住民らとの交流企画、復興まつりなど住民集いの場づくりの支援、災害公営住宅移転に向けた支援サポート等を実施(6月24日、8月18-19日、8月26日、3月20日-22日)
避難先(借り上げ・建設型仮設住宅)と避難元地域住民のためのきずな再生事業(ボラサポ九州助成事業4次)	RSY		御船町地域支えあいセンターと支援団体ネットワーク「みふねっと」および熊本災害ボランティア支援ネットワーク(KVOAD)と連携し、御船町上野地区南田代1区・2区住民らとの交流企画、復興まつりなど住民集いの場づくりの支援、災害公営住宅移転に向けた支援サポート等を実施(6月24日、8月18-19日、8月26日、3月20日-22日)
周年	RSY・各地の被災地		<ul style="list-style-type: none"> ■東海豪雨を語り継ぐ集い(9月11日)協力。約30名が参加。 ■阪神・淡路大震災(1月) ■東日本大震災等(3月)の行事への参加等。
復興支援	RSY		■被災地復興イベント支援■被災地と被災地をつなぐ。
東日本大震災犠牲者追悼式(名古屋市内で実施)	東日本大震災犠牲者追悼式あいち・なごや実行委員会		愛知・名古屋のNPOなど団体が実行委員会形式で行っている追悼式。献花、14:46の黙とう、キャンドル点灯、追悼のメッセージ(宣言文)の読み上げをし、追悼と風化防止に努める。3月11日。参加者1000名

ぼくの夢、わたしの夢 (FOR 子ども支援基金)	RSY	東日本大震災で、東海3県に避難している子どもたちの叶えたい夢を応援する活動。将来の夢について作文を募集し、入選者には、その欲しいものを届け、その後の活用の様子などをレポートしてもらう企画。5月6日贈呈式。
調査研究・出版事業		
事業名	主体・協働先	事業内容
大学連携	名古屋大学	名古屋大学減災連携研究センター社会連携推進会議委員
大学連携	名古屋工業大学	高度防災工学センターとの連携事業、NPO 法人達人塾ネット設立への参画など
大学連携	名古屋学院大学	「減災福祉まちづくり学・演習」講師受託。
大学連携	愛知淑徳大学	「違いを共に生きる・ライフデザイン」講師受託
避難所生活改善のためのツール開発 (WAM 助成)	RSY	①被災地へのヒアリング②ツール作成(冊子「避難所運営の知恵袋」の改訂版5000部、災害時要配慮者再現ビデオ100枚)、③研修会実施(2月10日、16日、3月15日)
人材交流・ネットワーク推進事業		
事業名	主体・協働先	事業内容
会員寄付拡大	RSY	賛助会員、寄付者拡大施策。ボランティアの拡大も含む
RSY ボランティア DAY	RSY	6月23日/名古屋駅ナナちゃん人形前/15名/街頭募金 6月24日/名古屋駅ナナちゃん人形前/18名/街頭募金 7月9日/名東倉庫/23名/資機材搬出(広島市行) 7月12日/名東倉庫/10名/資機材搬出(岡山県倉敷市行) 7月14日/栄三越ライオン像前/16名/街頭募金 7月15日/栄三越ライオン像前/15名/街頭募金 7月16日/栄三越ライオン像前/21名/街頭募金 9月8日/岐阜県関市/10名/ボラバス(泥だし作業等) 9月9日/岐阜県関市/12名/ボラバス(泥だし作業等) 9月15日/名東倉庫/5名/資機材搬入(広島市より) 9月23日/岐阜県関市/9名/ボラバス(泥だし作業等) 9月24日/岐阜県関市/11名/ボラバス(泥だし作業等) 10月25日/名東倉庫/7名/資機材搬入(倉敷市より) 12月6日/東海建設・名東倉庫/4名/物資整理作業 12月15日/大口町倉庫/7名/うるうるパック化作業 12月16日/大口町倉庫/6名/うるうるパック化作業 1月1日/熱田神宮東門入口前/23名/元旦募金 1月13日/大口町倉庫/9名/うるうるパック化作業 1月14日/大口町倉庫/8名/うるうるパック化作業 2月24日/ナゴヤドーム/7名/ハッピーママフェスタ 3月10日/大口町倉庫/6名/うるうるパック化作業 3月12日/大口町倉庫/5名/うるうるパック化作業 3月15日/大口町倉庫/7名/うるうるパック化作業 3月18日/大口町倉庫/7名/うるうるパック化作業 3月20日/大口町倉庫/8名/うるうるパック化作業 3月24日/土岐市/1名/募金活動
名古屋ネット	名古屋市など	■なごや災害ボランティア連絡会/なごや防災ボラネット参画■三遠南信交流会(長野県飯田市。10月20-21日) ■子ども防災デイキャンプ(5月12日。戸田川緑地) ■名古屋市職員研修受入(3名) ■なごや環境大学教育講座(2月23日、3月2日、3月23日。戸田川緑地。2月23日/27名/3月2日/44名/3月23日/27名参加)

愛知県ネット	愛知県など	愛知県防災会議・同幹事会出席。防災のための愛知県ボランティア連絡会・定例会議出席。あいち防災協働社会推進協議会定例会出席。県二年目研修生受け入れ（6名）。
岐阜県ネット	岐阜県など	岐阜県災害ボランティア連絡会出席。清流の国ぎふ防災・減災センターコーディネーター委嘱、コーディネーター会議、げんさい楽座への参画、岐阜県防災リーダー育成研修講師、内閣府「三者連携研修会 in 岐阜」講師、シニア災害ボランティアシンポジウム講師など
東海圏ネット	静岡県ボランティア協会など	静岡県ボランティア協会：静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練参加、同訓練ワーキンググループへの参画。
全国ネット	全国の NPO・NGO・社協・企業など	東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN) 代表世話人・3.11の今がわかる会議 in 名古屋 1月30日開催、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P) 幹事、震災がつなぐ全国ネットワーク(震つな) 事務局担当・代表・事業担当。NPO 法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) 代表理事・運営委員・避難生活改善に関わる専門委員会・技術系専門委員会担当
NPO ネット	名古屋市内 NPO 等	中間支援 NPO などとの交流・連携。
愛知県内 NPO 連携事業	RSY	災害関連の NPO にとどまらず、大規模災害時を見据えて、事前のネットワーク化に取り組む
東海地域避難者支援ネットワーク化推進事業 (タケダ・赤い羽根広域避難者支援プログラム助成事業)	RSY	東海地域避難者支援ネットワーク化推進事業の4年目。愛知・岐阜・三重・静岡4県のネットワーク間の連携の実績も積んでいく。10月27日、1月30日避難者支援連絡会実施。避難者支援に関するアンケート調査の実施、調査報告書の作成。3月3日福島・東海ユース交流会実施。3月21日避難者支援を考えるシンポジウム実施。
中日サバイバルキャンプ	中日新聞事業部	監修、運営補助 (10月20日、27-28日) 知多市にある佐布里緑と花のふれあい公園で実施。親子81名が参加
あそぼうさいまなぼうさい	RSY	11月18日にリーフウォーク稲沢で開催。水害の備えを考える新規ブースを出展。550名参加。
海でつながるプロジェクト2018	蒲郡市	蒲郡市のボートレース場で行われる近隣住民むけ家族防災イベントの防災コーナーを担当 (7月29日)。ブース来場者500名。※7月28日は台風のため中止となった。
防災人材交流シンポジウム	防災人材交流シンポジウム実行委員会	つなぎ舎。防災をテーマに活動している団体、個人の交流、情報交換の場。オアシス21で、巨大地図にプロジェクトマッピングを投影。約6000名来場10月8日
多文化防災ネットワーク	多文化防災ネットワークあいち・なごや	愛知・名古屋の災害時の外国人支援について、学び、連携を強化していく活動。RSYは発起人。参加。
社会見学、インターン受け入れ	RSY	中学生の社会見学(三重県陽和中学校、天白中学校)、高校生インターン(名古屋市工芸高校)、大学生インターン受入れ
養成講座・研修事業		
事業名	主体・協働先	事業内容
みずから守るプログラム	愛知県、三菱UFJリサーチ&コンサルティング	地区別フォーラム (防災カフェの開催・3月13日@愛西市)・商業施設活用型フォーラム (リーフウォーク稲沢・11月18日)、コーディネーター育成、地域への伴奏支援など運営の一部を担う。
中学校防災講演会	大府市	市内中学校4校を対象とした講演会。
避難所運営	名古屋市中村区	モデル地区住民向けの避難所運営訓練 (11月11日)
ガイドブック作成	名古屋市中川区	災害時要援護者 (障害児者) 支援ガイドブックの作成支援

地域防災リーダー養成講座	清須市	地域防災リーダー養成のための講座 (5月13日、5月20日、7月8日、11月25日)
防災ネットきずこう会支援	高浜市	事業者向け防災対策の推進、防災リーダー養成講座。防災リーダー養成講座・基礎編 (6月30日)、避難所編 (7月14日) フォローアップ編 (8月19日)、要配慮者・福祉避難所向け防災・減災イベント (12月16日)、外国人向け防災訓練 (3月9日)
災害ボランティアコーディネーター養成講座	瀬戸市	災害ボランティアに関わる講演会、WS。2月24日
自主防災組織活性化	安城市 ・安城市社協	北中学校区をモデル地区に避難所開設訓練を実施。また、市内福祉施設・当事者団体らと共に福祉避難所に指定された中部福祉センターにて開設訓練およびマニュアル作成を実施 (説明会5月30日、WS①6月26日、WS②8月1日、WS③9月19日、訓練11月10日、WS④12月5日、報告会2月9日)
減災まちづくり研究会運営支援	安城市	安城市が設置した減災まちづくり研究会の企画・運営。昨年度の「家具等転倒防止」の継続と今年度は「備蓄」をテーマに年間を通して取り組む。第1回研究会 (7月2日) 第2回研究会 (9月7日) 減災まちづくりフェスタ於イトーヨーカ堂 (9月22日)、第3回研究会 (12月11日)、成果報告会 (3月17日)
地域防災リーダー育成講座	岐阜県岐南町	地域防災リーダー養成のための講演会 (11月11日)。
各務原市防災ひとつづくり講座	岐阜県各務原市	地域の防災リーダーの養成 (10月21日、11月17日、11月18日、12月2日)
災害VC養成・フォローアップ講座	名古屋市	災害ボランティアコーディネーター養成講座27期 (9月29-30日)。フォローアップ講座・被災地へボランティア経験と現場経験者の生の声を聞くツアー (9月23日10名、24日10名) 28期 (1月26、27、2月2日) フォローアップ講座 (1月27日・28期と合同)
名古屋 Shake Out	名古屋 Shake Out 実行委員会	周辺の産官学民の有志が集い、Shake Out (指定された開催日時に参加者が自主的に行う大規模防災訓練)。9月11日実施。実行委員会3回、事前学習会 (8月7日)、事後報告会 (10月19日) を開催。中区消防表彰受賞。
防災フェスタ	なごや防災ボラネット	防災啓発イベントのための防災コーナーでの企画・運営。
防災研修事業	日進市	梨の木小学校区をモデル地区に避難所開設訓練 (8月29日) 講演会、WS①10月23日、WS②11月22日、WS③12月20日、訓練1月26日、WS④2月28日)
豊田市朝日丘地域会議防災事業	豊田市	朝日丘地区での2自治区にて開催される集会等において防災講演会の講師を担当。小坂自治区 (9月15日)、下市場自治区 (11月25日)
豊田市梅坪台地域会議防災事業	豊田市	梅坪台地区の5自治区において「家具転倒防止」をテーマとした講演の講師を担当。(10月～3月に実施)
避難所運営訓練に係る事業	米原市	伊吹山中周辺地区をモデル地区とした、避難所開設訓練 (講演会7月22日、WS①8月24日、WS②9月20日、訓練10月14日)
災害VC運営マニュアル等の整備事業	日進市社協	災害VCおよび職員行動マニュアルの作成支援 (講演会、研修委員会、マニュアル監修など)
被災者支援サポーター講座	RSY	災害支援をテーマとした人材育成事業。第2弾として、炊出し要員育成を行う。また、若手研究者 (大学等) と、RSY 会員・スタッフを対象とした勉強会等も企画する。

ナゴヤハウジングセンター	ライダーズパブリシティ	昨年に引き続き、災害に関する基礎研修と避難誘導訓練を半田会場で実施（10月25日）
映画「太陽の蓋」上映会	RSY	3.11の福島第一原発事故の様子をドラマ化した映画の自主上映を実施。105名来場。10月31日
広報関連事業		
事業名	主体・連携先	事業内容
あるある（機関紙）	RSY	今年度5回発行。ボランティアによる「編集会議」実施（週一回）。会員、その他関係機関などを対象に約600部。11月に節目となる100号を発行
Web	RSY	ブログ、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムによる情報発信
各種検討会等		
依頼元	内容	
内閣府	■防災ボランティア活動の環境整備に関する検討会 ■防災教育チャレンジプラン実行委員会 ■中央防災会議災害対策標準化推進ワーキンググループ ■ラストマイルにおける円滑な支援物資輸送の実現に向けた調査検討会（JVOADとして） （栗田） ■避難所役割検討委員会 （浦野）	
愛知県	■防災のための愛知県ボランティア連絡会 （栗田・浜田） ■愛知県防災対策有識者懇談会 （栗田） ■あいち防災協働社会推進委員会 （栗田） ■愛知県防災会議 （栗田）・同幹事会（浜田） ■愛知県防災人材のあり方検討会 （栗田） ■愛知県みずから守るプログラム有識者会議委員 （栗田）	
岐阜県	■清流の国ぎふ 防災・減災センター コーディネーター （栗田） ■岐阜県災害ボランティア連絡会 （栗田） ■岐阜県「西日本豪雨検証委員会」委員 （栗田）	
名古屋市	■なごや災害ボランティア連絡会 （栗田・浜田） ■名古屋市民活動推進協議会 （栗田） ■地域福祉に関する懇談会 （栗田） ■防災条例の見直しと防災施策の推進に関する有識者懇談会 （浦野）	
名古屋環境大学	■活動サポートチーム委員 （浦野）	
名古屋しみどりの協会	■戸田川賢人会委員 （浦野）	
愛知県社協	平成30年市町村社協災害対応支援部会（浦野）	
名古屋国際センター	アドバイザー委員会（栗田）	
中央共同募金会	■災害ボランティア活動支援プロジェクト会議委員 （浦野）・委員および幹事（JVOADとして栗田） ■赤い羽根チャリティホワイトプロジェクト選出委員会 （松山）	
静岡県ボランティア協会	■南海トラフ巨大地震に備えた災害ボランティアネットワーク委員会 （浦野・松山） ■ふじのくに国際災害ボランティア支援ネットワーク常任委員会 （栗田） ■静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練ワーキンググループ （松山）	
日本災害復興学会	副会長・理事（栗田・1月12日任期満了） 理事（浦野）	
名古屋学院大学	大学COC事業名古屋キャンパス委員会（浦野）	
全国社会福祉協議会	都道府県における同時多発・広域災害への支援のあり方検討委員会（松山）、災害ボランティア活動ブックレットシリーズ製作委員会（松山）	
東京ボランティア・市民活動センター	東京都災害ボランティアセンターアクションプラン評価・策定委員会・分科会（松山）	
非常勤講師		
依頼元	内容	
至学館大学	総合社会参加（ファシリテーション）論（栗田）	
岐阜大学	防災リーダー育成講座（栗田）	

日本福祉大学		災害ソーシャルワーク（浦野）
被災地スタディツアー事業		
事業名	主体・連絡先	事業内容
スタディツアー	RSY	1. 17 阪神・淡路大震災、田麦山ロードレース参加（6月10日）等

収益活動に係る事業

事業名	事業内容
印刷代	輪転機・コピー機の有料使用
書籍販売	「被災者が一番伝えたいこと」「避難所運営の知恵袋」ほか、震つなブックレット等の販売
物品販売	七ヶ浜きずなハウス/オリジナルグッズ（Tシャツ等）の販売。耐震DVD/防災紙芝居の販売。熊本茶販売（御船町支援）。
防災用品の開発・販売	防災グッズ（じしんだゾウさんてぬぐい、紙ぶるる等）スズキモダン「HUG+KUM（ハグクム）」（避難所生活応援グッズ）の監修モダン工房「福祉避難室設置のためのキット」の開発（調整中）

会議の開催に関する事項

会議名	日程	時間	場所	議題
総会				
通常総会	6月24日	15:00～15:55	名古屋建設業協会1階会議室	① 2017(平成29)年度事業報告の承認 ② 2017(平成29)年度決算報告の承認 ③ 2018(平成30)年度事業計画の議決 ④ 2018(平成30)年度予算の議決 ⑤ 役員の変更について ⑥ 定款の変更について
理事会				
第1回理事会	6月15日	19:00～21:00	久屋事務所	① 2017(平成29)年度事業報告案・決算案 ② 2018(平成30)年度事業計画案・予算案
第2回理事会	9月21日	19:00～21:00	久屋事務所	① 事業進捗報告、予算執行状況 ② 各理事からの近況報告
第3回理事会	12月21日	19:00～21:00	久屋事務所	① 事業進捗報告、予算執行状況 ② 各理事からの近況報告
第4回理事会	2019年 3月15日	19:00～21:00	久屋事務所	① 事業進捗報告、予算執行状況 ② 賞与・人事について
評議員会				
第1回評議員会	2019年 2月15日	19:00～20:00	久屋事務所	① 事業進捗報告、予算執行状況 ② 評議員各位よりご意見・ご助言

平成30年度 決算

(平成30年4月1日より平成31年3月31日まで)

- (1) 貸借対照表
- (2) 活動計算書
- (3) 財務諸表の注記
- (4) 財産目録

名古屋市東区泉1丁目13-34 名建協2階

特定非営利活動法人 レスキューストックヤード

貸借対照表

2019(平成31)年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	27,100,200	
商品	113,081	
貯蔵品	2,400,197	
未成調査支出金	260,099	
未収金	21,178,231	
立替金	68,760	
仮払金	67,068	
前渡金	387,250	
前払費用	29,300	
流動資産合計		51,604,186
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
車輛運搬具	3	
什器備品	45,806	
有形固定資産計	45,809	
(2)投資その他の資産		
保証金	750,000	
リサイクル預託金	42,580	
基金積立預金	29,000,000	
基金預金/西田基金	8,043,867	
投資その他の資産計	37,836,447	
固定資産合計		37,882,256
資産合計		89,486,442
II 負債の部		
1. 流動負債		
前受会費	145,000	
預り金	890,217	
未払費用	6,026,196	
未払消費税等	1,234,600	
流動負債合計		8,296,013
負債合計		8,296,013
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	69,846,303	
当期正味財産増減額	11,344,126	
正味財産合計		81,190,429
負債及び正味財産合計		89,486,442

2018(平成30)年度 活動計算書

2018(平成30)年4月1日から2019(平成31)年3月31日まで

(単位:円)

科目	特定非営利活動	その他事業	合計
I 経常収入の部			
1 受取会費			
正会員	1,290,000		1,290,000
賛助会員	1,318,000		1,318,000
2 受取寄付金			
寄付金収入	15,067,021		15,067,021
3 受取助成金等			
助成金収入	26,902,453		26,902,453
4 事業収益			
被災者支援事業	38,244,494		38,244,494
講演会事業	7,434,101		7,434,101
広報関連事業	83,600		83,600
調査研究・出版事業	0		0
人材交流・ネット事業	7,572,200		7,572,200
養成講座・研修事業	17,134,909		17,134,909
相談・助言・提言事業	2,025,927		2,025,927
スタディツアー事業	50,000		50,000
5 その他収益			
物販収入		1,235,553	1,235,553
雑収入	150,875		150,875
受取利息	297		297
経常収益合計	117,273,877	1,235,553	118,509,430
II 経常費用			
1 事業費			
被災者支援事業	44,148,622		44,148,622
講演会事業	3,677,267		3,677,267
研究調査・出版事業	0		0
人材交流・ネット事業	5,299,274		5,299,274
広報関連事業	809,703		809,703
養成講座・研修事業	5,668,483		5,668,483
相談・助言・提言事業	1,700,696		1,700,696
スタディツアー事業	182,601		182,601
助成金事業	27,883,172		27,883,172
物販仕入		311,715	311,715
事業費計	89,369,818	311,715	89,681,533
2 管理費			
(1)人件費			
給与手当	499,412		499,412
雑給	805,634		805,634
法定福利費	4,135,554		4,135,554
福利厚生費	343,013		343,013
人件費計	5,783,613	0	5,783,613

(2) その他経費			
研修費	4,650		4,650
旅費交通費	1,120,648		1,120,648
会議費	139,063		139,063
通信運搬費	928,674		928,674
消耗品費	667,925		667,925
賃借料	2,704,448		2,704,448
水道光熱費	290,931		290,931
保険料	342,380		342,380
租税公課	3,083,589		3,083,589
減価償却費	45,804		45,804
修繕費	125,993		125,993
雑費	2,246,053		2,246,053
その他経費計	11,700,158	0	11,700,158
管理費計	17,483,771	0	17,483,771
経常費用計	106,853,589	311,715	107,165,304
当期経常増減額	10,420,288	923,838	11,344,126
Ⅲ 経常外費用			
固定資産除却損	0		0
経常外費用計	0		0
経理区分振替額	923,838	△ 923,838	0
当期正味財産増減額	11,344,126	0	11,344,126
前期繰越正味財産額			69,846,303
次期繰越正味財産額			81,190,429

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日NPO法人会計基準協議会)によっています。同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は最終仕入原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

法人税法の規定に基づいて、有形固定資産は定率法で、無形固定資産は定額法で償却をしています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等は税込経理により処理しています。

2. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

内容	期首取得価額	当期取得額	当期減少額	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
設備	0	0	0	0	0	0
車輛運搬具	11,879,205	0	0	11,879,205	11,879,202	3
什器備品	1,391,210	0	0	1,391,210	1,345,404	45,806
投資その他の資産						
保証金	750,000	0	0	750,000	0	750,000
リサイクル預託金	42,580	0	0	42,580	0	42,580
合計	14,062,995	0	0	14,062,995	13,224,606	838,389

3. 基金の増減内訳

(単位:円)

内容	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
投資その他の資産				
基金積立預金	24,000,000	5,000,000	0	29,000,000
合計	24,000,000	5,000,000	0	29,000,000

4. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は81,190,429円ですが、そのうち8,043,867円は西田基金事業に使用される財産です。したがって、使途の制約されていない正味財産は、73,146,562円です。

(単位:円)

内容	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	備考
西田基金事業	8,710,965	74	667,172	8,043,867	故・西田敏子さんの遺言により寄付された被災者のための基金
合計	8,710,965	74	667,172	8,043,867	

平成30年度 財産目録

平成31年 3月31日 現在
 特定非営利活動法人レスキューストックヤード
 (単位 円)

科 目 ・ 摘 要	金 額	金 額
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手許現金	3,878,417	
預貯金		
普通預金 三菱UFJ銀行本山支店	18,194,265	
普通預金 三菱UFJ銀行本山支店	664,195	
普通預金 三菱UFJ銀行大津町支店	2,087,345	
普通預金 七十七銀行仙台駅前支店	822,059	
普通預金 三井住友銀行名古屋支店	319,475	
振替貯金 ㈱ゆうちょ銀行	259,483	
振替貯金 ㈱ゆうちょ銀行	874,961	
商品 きずなハウス販売用商品	113,081	
貯蔵品 ブックレット他	2,400,197	
未成調査支出金 2019年度事業	260,099	
未収金 愛知県防災局災害対策課他	21,178,231	
立替金 震災がつなぐ全国ネットワーク他交通費等	68,760	
仮払金 経費分	67,068	
前渡金 UFJニコスカード	387,250	
前払費用 自賠責保険未経過分他	29,300	
流動資産合計		51,604,186
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
車輛運搬具 ハイエース他2台	3	
備品 アルミコンテナ他	45,806	
有形固定資産計	45,809	
(2)投資その他の資産		
保証金 鈴与興業㈱倉庫保証金	750,000	
リサイクル預託金 車輛リサイクル預託金3台	42,580	
基金預金 ㈱ゆうちょ銀行	27,000,000	
基金預金 三菱UFJ銀行本山支店	2,000,000	
基金預金/西田基金 三菱UFJ銀行大津町支店	8,043,867	
投資その他の資産計	37,836,447	
固定資産合計		37,882,256
資産合計		89,486,442
II. 負債の部		
1. 流動負債		
前受会費 2019年度以降会費	145,000	
預り金 源泉所得税等3月分、住民税3月分他	890,217	
未払費用 社会保険料他	6,026,196	
未払消費税等 2019年度確定分	1,234,600	
流動負債合計		8,296,013
負債合計		8,296,013
正味財産		81,190,429